

## 令和元年教育委員会 第9回定例会

1 日 時 令和元年9月26日(木) 13時30分開会 14時26分閉会

2 場 所 教育委員会庁舎3階 第1会議室

3 出席委員 教育長 林 秀 樹  
教育委員 笹 谷 純 代  
教育委員 小 澤 倭 文 夫  
教育委員 荒 田 純 司  
教育委員 常 見 幸 司

4 欠席委員 なし

5 出席職員 教育部長 森 貴 仁  
教育部次長 須 藤 慶 子  
教育部市立学校適正配置担当次長 松 井 宏 幸  
学校教育支援室長 中 島 正 人  
学校教育支援室主幹(生徒指導・特別支援担当) 大 山 倫 生  
学校教育支援室主幹(教育課程・研修担当) 谷 口 剛  
学校教育支援室主幹(学務担当) 吉 田 健 一  
学校教育支援室主幹(市立学校適正配置担当) 佐々木 雅 一  
教育総務課長 成 田 和 陽  
施設管理課長 伊 藤 雅 浩  
生涯学習課長 山 澤 亮 司  
教育総務課総務係長 安 藤 英 明  
教育総務課総務係 会 沢 秀 紀

6 傍聴人 なし

7 議 題

議案第1号 学校職員の処分内申について

報告第1号 公立高等学校配置計画(令和2年度(2020年度)~4年度(2022年度))及び  
令和2年度(2020年度)公立特別支援学校配置計画について

報告第2号 第2次小樽市文化芸術振興基本計画(原案)について

その他 ・寄附採納について

8 議 事

**林教育長** ただ今から、教育委員会第9回定例会を開会いたします。  
本日の会議の議事録署名委員に、笹谷純代委員を御指名させていただきます。  
はじめにお諮りいたします。議案第1号「学校職員の処分内申について」は会議規則第13条第1項第2号により、報告第2号「第2次小樽市文化芸術振興基本計画（原案）について」は同項第5号により、それぞれ非公開とし、議事録については結果のみ記載することとし、最後に審議していただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。

**各委員** (異議なし)

**林教育長** では、そのようにさせていただきます。  
早速議事に入ります。報告第1号 公立高等学校配置計画（令和2年度（2020年度）～4年度（2022年度））及び令和2年度（2020年度）公立特別支援学校配置計画について、説明をお願いします。

**報告第1号 公立高等学校配置計画（令和2年度（2020年度）～4年度（2022年度））及び令和2年度（2020年度）公立特別支援学校配置計画について**

**学校教育支援室主幹（学務担当）** 報告第1号 公立高等学校配置計画（令和2年度（2020年度）～4年度（2022年度））及び令和2年度（2020年度）公立特別支援学校配置計画について、報告いたします。

それぞれの計画は、道教委が本年6月に示しました計画案を基に、今日3日に決定いたしました。本市にかかわる部分について御説明いたします。

報告第1号①の1と、報告第1号②「公立高等学校配置計画（令和2年度（2020年度）～4年度（2022年度））」の16ページを御覧ください。

「(1) 令和4年度公立高等学校配置計画」でございますが、後志学区におきましては、学級の増減がないことが正式に決定いたしました。

「(2) 令和5年度から8年度までの中卒者」についてでございますが、令和4年度卒業者を基準といたしますと、後志学区内では97人、小樽市内では91人の減少が見込まれております。後志学区において「令和5年度から8年度までの4年間で1～2学級相当の調整が必要」「欠員の状況や学校・学科の配置状況を考慮し、小樽市内において定員調整の検討が必要」などの見解が、計画案と同じく示されております。また、定時制課程につきましても、「国において、定時制課程の在り方について検討が進められているところであり、国の動向を踏まえることが必要」と、計画案と同じく示されております。

次に、報告第1号①の2と、報告第1号③「令和2年度（2020年度）公立特別支援学校配置計画」の3ページを御覧ください。

小樽高等支援学校 環境・流通サポート科において1学級の増が、また、高等聾学校につきましても学級の増減がないことが正式に決定いたしました。

報告は、以上でございます。

林教育長 　ただ今の報告に関しまして、御質問・御意見等ございますでしょうか。

既に決まっています令和2年度の小樽桜陽高校の1学級減、これは一昨年の配置計画の中で決定した事項で、これについてはこのままですので、来年は40人、小樽桜陽高校が定員を減ずるとい形になります。それと、今後のことですけれども、令和5年から令和8年までの間に、後志管内の中卒者が97名減の予想に対して、小樽市内が91名、ほとんど小樽市内で中卒予定者（減）が占めるということになりますので、この間90人の枠が減る分を道教委がどのような調整を行うかということになるのですけれども、非常に厳しい状況が考えられるということですね。それから、定時制課程については、来年度を目途に、中教審の答申が出るとい思いますけれども、いろんな子どもたちが定時制に通うという状況を踏まえて、定時制教育の在り方そのものを今、文科省が中教審に諮問していますので、その結果を踏まえて在り方を検討するということですので、ちょっと定時制の在り方そのものが見直される可能性があるということなので、今年、来年あたりまでは潮陵も未来創造も大幅に定員を割っているという状況ですけれども、今のところは結果次第で検討し直します、という文言になっているということですね。

どちらにしても、子どもたちの数が減る中で、私学の経営状況も勘案しながら調整することになっていますので、こころ辺、非常に今後難しい状況が続くのかなという印象を持っています。今後、道教委のほうからも、いろいろ協議が持ち込まれるというふうに思いますので、その際には皆様方に御相談したいと思しますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。ほかにございますか。よろしいでしょうか。

各委員 　（なし）

林教育長 　それでは、本件を終了させていただきます。

それでは、その他の報告ですけれども、寄附採納について、説明をお願いいたします。

#### **その他 寄附採納について**

教育総務課長 　寄付が2件ございましたので、御報告いたします。

1件目は、濱崎 哲也様から、図書館に対し、図書7冊、計1万円相当を御寄贈いただきました。濱崎様は図書館をよく御利用されており、日ごろの感謝の気持ちを込めて、図書充実のため役立ててほしいとのことでした。

2件目は、一商幸樹会様から、小樽市奨学資金基金に5万円御寄附いただきました。一商幸樹会様からの御寄附は、平成7年から毎年いただいております。今回で25回目、総額は125万円となっております。

報告は以上でございます。

林教育長 　はい、ありがとうございました。

では、ただ今の説明に関しまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。

よろしいですか。

各委員 (なし)

林教育長 それでは、本件を終了させていただきます。

それでは、ただ今から非公開の審議に入りますので、報道関係者及び傍聴者の皆様には御退席をお願いいたします。

<非公開の審議開始>

#### **報告第2号 第2次小樽市文化芸術振興基本計画(原案)について**

生涯学習課長から、第2次小樽市文化芸術振興基本計画(原案)について説明し、林教育長、荒田委員から質問が、常見委員、荒田委員、小澤委員、笹谷委員から意見があったほか、全委員が了承した。

#### **議案第1号 学校職員の処分内申について**

教育総務課長から、学校職員の処分内申について説明し、全委員一致により決定した。

<非公開の審議終了>

林教育長 以上をもちまして、教育委員会第9回定例会を終了いたします。